



「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔オープニング〕 プロジェクトの目指すもの

パブリック・アウトリーチ
木村 浩



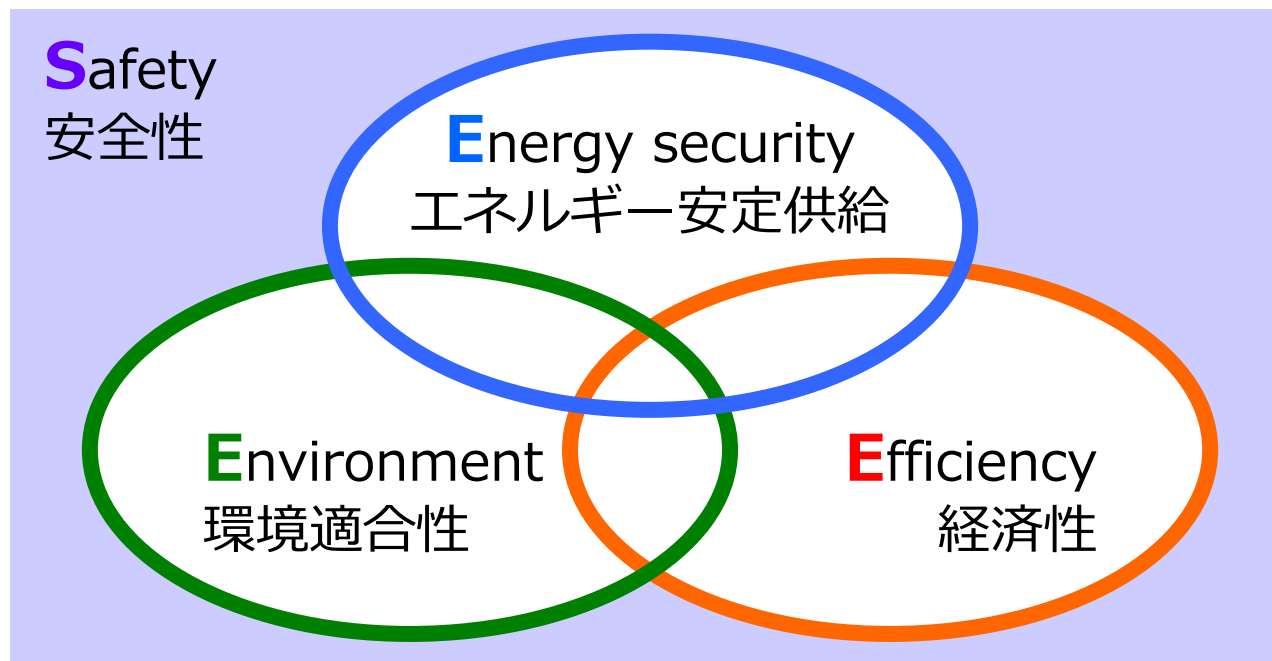
プロジェクトの背景

- ▶ **福島原発事故やパリ協定を受けて、エネルギーの将来見通しは複雑化し、多くの問題を孕む。この解決には、国民的議論が望まれている。**
 - 国民的議論の一環として、エネルギーに関するさまざまな対話の取り組みがなされている。しかし、最終的にどのように「決めていくのか=合意をつくっていくのか」ということに切れ込んだ対話はなかなか見られない。
 - 政府も、どうやって国民的議論を政策に取り入れればよいのか、試行錯誤中。
 - 従来の合意形成学においても、全国民的な合意形成には踏み込めていない。



エネルギーの将来を考える

- ▶ エネルギーの将来を考えるには、「3 E + S」が重要とはよく言われる。大前提のSに加え、3 Eのトリレンマを考えなければならない。



これで十分
…なのかな？





プロジェクトが目指すもの

- ▶ エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。
 - 最終的には、**2050年の日本のエネルギー構造**について考え、話し合う。それを目指してワークショップを進める。
 - もし合意が取れなかったとしても、「合意」を目指すためには、さらにどのような情報が必要になるのかを話し合う。プロジェクトでは合意を目指す、全6回のワークショップで必ず取らなければならないということはない。
 - 合意を目指した草分け的取り組み。



運営者

- NPO法人パブリック・アウトリーチ
 - プロジェクト運営責任者、ファシリテーター
 - 木村 浩・竹中一真・神崎典子・円満字千代佳
- 講師
 - 安定供給 : 藤井康正氏 (東京大学)
 - 経済性 : 松尾雄司氏 (エネルギー経済研究所)
 - 環境適合性 : 柳下正治氏 (上智大学)
 - 安全性 : 諸葛宗男氏 (パブリック・アウトリーチ、元東京大学)
- 株式会社N V研究所
 - ワークショップ記録作成
- 資源エネルギー庁
 - 本プロジェクトの資金元、(一財)日本立地センターが事務局
 - 関係者の視察がありうる。

…ボクもいるよ!



マスコットキャラクター
ぶよたまくん



参加者

▶ 学生 7人

- 男性3人、女性4人
- 文系2人、理系5人

	重視する	重視しない
エネルギー安定供給	4人	1人
経済性	0人	3人
環境適合性	1人	2人
安全性	2人	1人



ご協力ありがとうございます
ございます



実施予定

- 第1回：2016年8月16日（火） 13:00～15:00
 - オープニング・ワークショップ「エネルギーの将来について考えるには」
- 第2回：2016年9月19日（月） 13:00～15:00
 - 「電源別発電コスト評価の概要と主要な論点」（松尾雄司氏）
- 第3回：2016年9月22日（木） 13:00～15:00
 - 「原子力の安全性（Safety）について（仮）」（諸葛宗男氏）
- 第4回：2016年10月中
 - 「環境適合性（Environment）について（仮）」（柳下正治氏）
- 第5回：2016年11月中
 - 「エネルギー安定供給（Energy Security）について（仮）」（藤井康正氏）
- 第6回：2016年12月中
 - ワークショップ「エネルギーの2050年像を描く（仮）」



記録と公開

- 〔公開〕プロジェクト運営の公正のために、話し合いは録音して書き起こし、読みやすいような最低限の加工や、個人情報や不適切発言等を消去した上で、すべてホームページに公開する。
 - <http://www.ponpo.jp/2016WS/>
- 〔非公開〕フォーラムの様子を録画する。
 - 学術的分析にのみ使用し、その他の利用は一切しない。外に流出することは一切しない。
- その他、写真等の記録を取る。
 - これらの公開については、参加者の許可をもらってから行う。
- 〔お願い〕SNS等で皆さんの活動を拡散してください（笑）



おわりに

〔目的再掲〕 エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。

- 皆様と一緒にあって、お互いを理解し、尊重しながら、合意をつくっていくための新しい方法を生み出していきたいと考えています。
- 私たちは、本プロジェクトを通じて、市民が共に話し合い、ものごとを決めていくような仕組みをどうしたら創れるのかを見つけ、社会に貢献していきたいと考えています。

皆様のご協力に感謝申し上げます



プロジェクト参加に伴う諸条件等

- 効果測定・学術的分析の視点から、以下を行う。
 - － アンケートの実施・分析（プロジェクト前後、各ワークショップ後）
 - 分析者は木村・竹中（パブリック・アウトリーチ）
 - いただいたデータは、個人情報の管理を徹底します。分析においては、個人が特定されないように実施します。
- ワークショップの参加に伴う謝金
 - － 24,000円（交通費込み）（各ワークショップで4,000円をお支払いします。）
 - － 原則として、全6回参加していただきます。
- 本プロジェクト開催に関する費用
 - － 経済産業資源エネルギー庁の支援を受けて実施しています。
（事務局：（一財）日本立地センター）
- 活動成果の公表
 - － 本プロジェクトによって得られた成果は、様々な学術的な場等において公表します。また、マスメディア等の取材にも積極的に応じます。